

# また会いましょう

昭和32年卒 田部 康子

私達三組は、唯一女子ばかりのクラスでした。現在消息の分かっている人は三十四名ですが通常二年に一回クラス会を開催しています。今回は浜名湖花博覧会の開催に合わせて三年ぶりの、一泊二日のクラス会となりました。

当日（五月十日）は生憎の雨天でしたが、遠くはフロリダ在住の友も含め十六名が弁天島温泉に集い再会を祝し互の健康を祈念して乾杯！時の経つのも忘れて三年、五年、ある友は三十年ぶりに積る話に花が咲きました。翌日は、昨夜の風雨



が嘘のような好天気でお互いに日頃の行いの良さを讃え合いました。会場に到着すると記念写真もソコソコにロッカーに荷物を預け、心地よい風に吹かれながら世界の珍木に見入り、美しい花に感

嘆し暫し、モネの世界に浸り、バザールでショッピングをしたりと楽しい時を過ごしました。大きな充実感と軽い疲労を覚え、二年後の再会を約束して、夫々家路につきましました。

## 高尾 障先生を偲ぶ

昭和42年卒 渡邊 孝夫

昨秋十一月五日業界のセミナーがあり、夜少し遅い帰宅だった。同期生の友人からの一本の電話、一瞬耳を疑った高尾先生の訃報を知らせる友人の声であった。ホント？言葉がつかまった。

私達に微笑みかける遺影と、私が待参した三年前の同期会で撮影した集合写真、ご家族、親戚の方々とお洒落だった先生に最後のお別れを致しました。

十一月六日夜六時からお通夜、七日告別式、何ともやるせない気持ちで連絡のつく友人達に夜分に知らせるのが精一杯だった。お通夜は、荻窪の長命寺会館で二十名ほどの同窓生が最後のお別れに参列できた。高尾先生らしく、読経も無く、お焼香もなく、厳かな音楽

が流れるなか白菊の献花に送られ天国へ旅立たれました。私達に微笑みかける遺影と、私が待参した三年前の同期会で撮影した集合写真、ご家族、親戚の方々とお洒落だった先生に最後のお別れを致しました。



## あれから40年

昭和38年卒 村越 次郎

晩秋の千曲川畔の宿での同窓会、四十年目の初参加、武者小路実篤を愛読したあの少年少女も今では緩小路さみまろと化し。まだ上げ初めし前髪のりんごの元に見えし時前にさしたる花柳の花ある君、君は今何処？面影忍んで記念写真、一夜を酒宴で楽しみ翌日善光寺参り、線香の煙漂

う境内で祈願しお昼の蕎麦を食べながら青春時代を想い出す。信州信濃のそばよりも私あんなの側がいい：夢幻のあれから四十年：歳月を胸に孫のみやげを買った善男善女、秋の陽が西に傾く頃善光寺を後にした。遠来の友の姿が見えなくなるまで手を振った。謝謝、我的朋友佳見

して、一時限目の始業には間に合わず、一時限目は毎日欠課でした。給食時間の六時頃に登校しました、かつて無い、学期ごとに時間割を変更する方策を先生方に説得し実施していただきました。卒業できたのも、先生のおかげでした。幾人かの友人も恩恵にあずかっております。泳げない私をプールの時間に何とか二十五メートル泳げるようにしていただいた。思い出が尽きない、熱血指導、二度の大病にもかかわらず、晩年まで体育振興に多大なご尽力を注がれた高尾先生に我らも続こう、天国で見守っていてください、高尾先生安らかにお休みください。合掌

